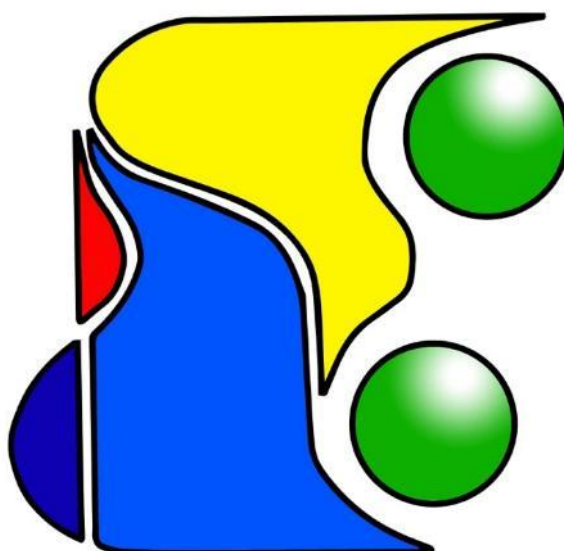


SPACC
先端錯体工学研究会
The Society of Pure and Applied Coordination Chemistry



SPACC News Letter

(October, 2025)



SPACC ニュースレター (SPACC News Letter)
(2025 年 10 月号)

目次

1. 2025 年度第 1 回産学交流フォーラム開催報告

星和電機株式会社・先端錯体工学研究会材料部会部会長
吉川 幸治
工学院大学先進工学部応用物理学科
永井 裕己

2. SPACC 2025 年会 プログラム 公開

大阪教育大学 理数情報教育系
福本晃造

3. SPACC 一般会員及び学生会員ご入会のお願い

4. 今後の行事予定及び事務局からのお知らせ

★賛助会員からのお知らせ

Contents of this issue (October 2025)
--

1. Report on the 1st Industry-Academia Exchange Forum 2025
by Dr. Koji Yoshikawa at SEIWA ELECTRIC MFG CO. Ltd,
Head of Division of Material Science & Engineering in
SPACC, and Prof. Hiroki Nagai at Kogakuin University
2. Announcement of Program of SPACC Annual Meeting 2025
by Prof. Kozo Fukumoto, Osaka Kyoiku University
3. Invitation to join SPACC – General and Student Members–
4. Upcoming Event Information
- ★ Recommendations from Supporting Companies

1. 2025 年度第 1 回産学交流フォーラム開催報告

2025 年度第 1 回産学交流フォーラム開催報告

星和電機株式会社・先端錯体工学研究会材料部会部会長

吉川 幸治

工学院大学先進工学部応用物理学科

永井 裕己

2025 年 8 月 6 日（水）星和電機株式会社（<https://www.seiwa.co.jp/>）のご協力のもと、先端錯体工学研究会材料部会主催の「第 1 回産学交流フォーラム」を開催いたしました。本フォーラムは、2025 年 4 月 1 日に設立された当研究会材料部会の最初の活動として開催され、佐藤光史名誉教授と坂根真矢氏に講演いただきました。星和電機株式会社からは、15 名以上の方々にご参加いただき、活発な議論が交わされました。さらに、同社の工場と ISO/IEC 17025:2017 認定試験所である電波暗室の見学も実施いたしました。



フォーラムの冒頭では、星和電機株式会社の竹之内取締役より歓迎のご挨拶を賜り、続いて吉川部会長が本フォーラムの趣旨と星和電機株式会社について紹介いたしました。講演では、はじめに佐藤光史名誉教授が「分子プレカーサー法 -次世代成膜技術として-」と題してご講演くださり、同社の研究者の皆様と活発な質疑応答が行われました。次に、同社研究開発部の坂根真矢氏より「光制御技術 空中サイネージ」と題し、最新技術をご紹介いただきました。講演後には、空中サイネージを実際に体験させていただく貴重な機会も得られました。また、工場見学では、実際の道路表示板や電波暗室を拝見し、同社の最先端技術に触れることができ、実りある産学交流会となりました。



佐藤光史名誉教授のご講演



坂根真矢様のご講演

末筆ではございますが、ご講演いただいた先生方、ご参加いただいた皆様、そして本フォーラムの企画・運営にご尽力いただいた星和電機株式会社の皆様、ご支援くださった先端錯体工学研究会の関係各位に、心より感謝を申し上げます。

2025 年度先端錯体工学会年会プログラム

1. 期 日： 2025 年 11 月 2 日（日）
2. 会 場： 琉球大学千原キャンパス 研究者交流施設 50 周年記念館
〒903-0213 沖縄県中頭郡字千原 1 番地
<https://maps.app.goo.gl/nPq6YptMiXq76fFBA>

3. 日程

11月2日 (日)	受付 9:30～ 10:00	開 会	招待講演 I-01 10:10～11:10	休 憩	特別講 演S-01 11:15 ～ 11:45	昼食 11:45～12:50	口頭発表 1 12:50～13:50	休 憩	口頭発表 2 14:00～15:00	ポスター発表 15:00～16:00	休 憩	招待講演 I-02 16:10～17:10	授 賞 式 ・ 閉 会	会 場 準 備	懇親会 18:00～19:30
--------------	----------------------	--------	-----------------------------	--------	-------------------------------------	-------------------	-----------------------	--------	-----------------------	-----------------------	--------	-----------------------------	----------------------------	------------------	--------------------

- < 11 月 2 日（日） 9:30～ 受付：研究者交流施設 50 周年記念館入口 >
- 10:00～10:10 開会のあいさつ
- 10:10～11:10 招待講演 I-01： 安里 英治 氏（琉球大学 教授）
演題：琉球大学での 35 年を振り返って ビスマス化学から大環状配位子錯体化学まで
- 11:15～11:45 特別講演 S-01： 岩永 寛規 氏（株式会社東芝、立教大学大学院 客員教授）
演題：新規ホスフィンオキシド配位子を有する Eu(III)錯体の特性とそのアプリケーション
- 11:45～12:50 昼食
- 12:50～13:50 口頭発表 1
- 14:00～15:00 口頭発表 2
- 15:00～16:00 ポスター発表（一般・ジュニアセッション）
- 16:10～17:10 招待講演 I-02： Taner Akbay 氏（Yeditepe University 教授）
演題：On the Surfaces of Complex Oxides: With Special Emphasis on Oxygen Reduction Reaction
- 17:10～17:25 授賞式
- 17:25～17:30 閉会のあいさつ
- 18:00～19:30 懇親会

4. 昼食

10 月 29 日（水）までにお弁当の予約を受け付けます。詳細は、案内メールをご確認ください。

5. 懇親会

日時： 11月2日（日）18:00～19:30

会場： 琉球大学 50 周年記念館交流ラウンジ

参加費： 5,000 円（学生は 3,000 円）

6. 連絡事項

- ・参加費、懇親会費およびお弁当代は、当日、受付にてお支払いください。現金のみにて受け付けますので、お釣りがでないようにご準備のほど、よろしくお願いいたします。
- ・口頭発表は 11 分（発表 10 分＋質疑応答・交代時間 1 分）です。詳細な議論は、ポスター発表にて行っていただきますよう、ご協力をお願いいたします。
- ・ポスターは、受付時間や休憩時間を利用して、ご自身の発表番号の場所にご掲示ください。
- ・本会の公用語は、日本語および英語です。

7. 実行委員会

2025 年度先端錯体工学研究会年会実行委員会

委員長： 福本晃造（大阪教育大学・琉球大学）

委員： 高良 聡（琉球大学）、中川鉄水（琉球大学）

口 頭 発 表 1

座長： 松村 有里子（東京医療保健大学） [発表時間 1 件 11 分（発表 10 分・質疑応答 1 分）]

- O-01 糖修飾 N-ヘテロ環カルベン配位子をもつ硫黄架橋白金二核錯体の構造とその反応性
野村 周平（阪公大院理）・西岡 孝訓（阪公大院理）
- O-02 水溶性硫黄架橋白金三核錯体の合成と水中における d10 金属イオンとの反応
土橋 紳吾（阪公大院理）・西岡 孝訓（阪公大院理）
- O-03 Mist CVD 法における EDA 添加による Cu₃N 成長と酸素混入の抑制
月岡 知里（工学院大学）・大村 和世（東北大学）・成田 一生（東北大学）・永井 裕己（工学院大学）・尾沼 猛儀（工学院大学）・本田 徹（工学院大学）・山口 智広（工学院大学）
- O-04 銅アンミン錯体を出発原料とした Mist CVD 法による Cu₃N 成長
涌井 皇輝（工学院大学）・永井 裕己（工学院大学）・杉田 直樹（工学院大学）・尾沼 猛儀（工学院大学）・本田 徹（工学院大学）・佐藤 光史（工学院大学）・山口 智広（工学院大学）
- O-05 メタルサイトメーターを用いた単一がん細胞内元素の分析
福智 魁（東京科学大学）・山田 颯真（東京科学大学）・安東 侑吾（東京科学大学）・清水 祐哉（東京科学大学）・八井田 朱音（東京科学大学）・前本 佑樹（東京薬科大学）・青木 元秀（東京薬科大学）・島田 幹男（放射線影響研究所）・梅村 知也（東京薬科大学）・沖野 晃俊（東京科学大学）

口 頭 発 表 2

座長： 西岡 孝訓（大阪公立大学） [発表時間 1 件 11 分（発表 10 分・質疑応答 1 分）]

- O-06 Mist CVD 法 Sn-doped α -Ga₂O₃ 成長における Sn 原料溶液の調製方法の検討
西尾 宗真（工学院大学）・飯田 隆真（工学院大学）・涌井 皇輝（工学院大学）・山口 勇豪（工学院大学）・相川 慎也（工学院大学）・永井 裕己（工学院大学）・尾沼 猛儀（工学院大学）・本田 徹（工学院大学）・山口 智広（工学院大学）
- O-07 全固体薄膜リチウムイオン電池の製作に向けたシリカプレカーサー溶液の Si 錯体配位子の検討
村上 友佳子（工学院大学）・佐藤 光史（工学院大学）・永井 裕己（工学院大学）
- O-08 各種溶媒で作製したプラズマバブル水が持つ殺菌効果と基礎特性
大澤 泰樹（東京科学大学）・劉 子鈺（東京科学大学）・府川 大晟（東京科学大学）・八井田 朱音（東京科学大学）・松村 有里子（東京医療保健大学）・岩澤 篤郎（東京医療保健大学）・沖野 晃俊（東京科学大学）
- O-09 バイポーラ交流電解法によるチオール保護金クラスターの生成と溶出金の安定化
吉澤 深玖（工学院大学）・林 奏夢（工学院大学）・高見 知秀（工学院大学）・桑村 直人（工学院大学）
- O-10 アパタイトのアンモニア吸蔵における水の影響
運天 勇利（琉球大学）・中川 鉄水（琉球大学）

ポ ス タ ー 発 表

- O-01 糖修飾 N-ヘテロ環カルベン配位子をもつ硫黄架橋白金二核錯体の構造とその反応性
野村 周平（阪公大院理）・西岡 孝訓（阪公大院理）

- O-02 水溶性硫黄架橋白金三核錯体の合成と水中における d10 金属イオンとの反応
土橋 紳吾 (阪公大院理)・西岡 孝訓 (阪公大院理)
- O-03 Mist CVD 法における EDA 添加による Cu₃N 成長と酸素混入の抑制
月岡 知里 (工学院大学)・大村 和世 (東北大学)・成田 一生 (東北大学)・永井 裕己 (工学院大学)・尾沼 猛儀 (工学院大学)・本田 徹 (工学院大学)・山口 智広 (工学院大学)
- O-04 銅アンミン錯体を出発原料とした Mist CVD 法による Cu₃N 成長
涌井 皇輝 (工学院大学)・永井 裕己 (工学院大学)・杉田 直樹 (工学院大学)・尾沼 猛儀 (工学院大学)・本田 徹 (工学院大学)・佐藤 光史 (工学院大学)・山口 智広 (工学院大学)
- O-05 メタルサイトメーターを用いた単一がん細胞内元素の分析
福智 魁 (東京科学大学)・山田 颯真 (東京科学大学)・安東 侑吾 (東京科学大学)・清水 祐哉 (東京科学大学)・八井田 朱音 (東京科学大学)・前本 佑樹 (東京薬科大学)・青木 元秀 (東京薬科大学)・島田 幹男 (放射線影響研究所)・梅村 知也 (東京薬科大学)・沖野 晃俊 (東京科学大学)
- O-06 Mist CVD 法 Sn-doped α -Ga₂O₃ 成長における Sn 原料溶液の調製方法の検討
西尾 宗真 (工学院大学)・飯田 隆真 (工学院大学)・涌井 皇輝 (工学院大学)・山口 勇豪 (工学院大学)・相川 慎也 (工学院大学)・永井 裕己 (工学院大学)・尾沼 猛儀 (工学院大学)・本田 徹 (工学院大学)・山口 智広 (工学院大学)
- O-07 全固体薄膜リチウムイオン電池の製作に向けたシリカプレカーサー溶液の Si 錯体配位子の検討
村上 友佳子 (工学院大学)・佐藤 光史 (工学院大学)・永井 裕己 (工学院大学)
- O-08 各種溶媒で作製したプラズマバブル水が持つ殺菌効果と基礎特性
大澤 泰樹 (東京科学大学)・劉 子鈺 (東京科学大学)・府川 大晟 (東京科学大学)・八井田 朱音 (東京科学大学)・松村 有里子 (東京医療保健大学)・岩澤 篤郎 (東京医療保健大学)・沖野 晃俊 (東京科学大学)
- O-09 バイポーラ交流電解法によるチオール保護金クラスターの生成と溶出金の安定化
吉澤 深玖 (工学院大学)・林 奏夢 (工学院大学)・高見 知秀 (工学院大学)・桑村 直人 (工学院大学)
- O-10 アパタイトのアンモニア吸蔵における水の影響
運天 勇利 (琉球大学)・中川 鉄水 (琉球大学)
- P-11 ヘテロ接合酸化チタン薄膜と金属錯体色素の複合電極における PEDOT の光電気化学重合
和田 諭佳 (岐阜大院自然科技)・萬関 一広 (岐阜大院自然科技)
- P-12 ジチオレン錯体の位置異性体の合成と水素生成電極触媒
赤間 優有子 (工学院大学)・桑村直人 (工学院大学)
- P-13 チオシアニド有機銅(II)錯体の酸化挙動
大八木 茉莉 (工学院大学)・山内 佑亮 (工学院大学)・桑村 直人 (工学院大学)
- P-14 フェノキシ架橋部位をユニットとするスーパーマクロサイクルの錯形成挙動
玉城 悠賀 (琉球大学)・安里 英治 (琉球大学)・高良 聡 (琉球大学)
- P-15 環境清拭時の圧力変化の記録動画に対する Python を用いた動作解析プログラムの構築
飯田 賢人 (東京医療保健大学・大阪公立大学大学院)・松村 有里子 (東京医療保健大学)・西岡 孝訓 (大阪公立大学大学院)
- P-16 環状キュバン構造をもつアミノ酸銅錯体の構造と反応活性

- 佐々木 徹大（工学院大学）・忠井 美沙（工学院大学）・桑村 直人（工学院大学）
- P-17 エアロゾル混合ガスを用いた大気圧プラズマによるポリスチレン薄膜生成
謝 華庭（東京科学大学）・大澤 泰樹（東京科学大学）・福智 魁（東京科学大学）・八井田 朱音（東京科学大学）・沖野 晃俊（東京科学大学）
- P-18 1,3-ビス(サリチリデンアミノ)-2-プロパノラト骨格を持つシッフ塩基の少数核コバルト錯体
御厨 正博（関西学院大学）・中 優子（関西学院大学）・半田 真（島根大学大学院）・壺井 基裕（関西学院大学）
- P-19 環周辺にビス（3,5-トリフルオロメチル）フェニル基を導入した亜鉛(II)およびコバルト(II)フタロシアニン錯体の合成、構造および性質
半田 真（島根大学大学院）・用元 知憲（島根大学大学院）・矢野 なつみ（島根大学大学院）・杉森 保（富山大学）・片岡 祐介（島根大学大学院）

ジュニアセッション・ポスター発表

- JP-01 沖縄の海をきれいにしたい!!!-沖縄の海洋プラスチックゴミ量の季節変動の研究-
尾形 望亜菜（沖縄県うるま市立あげな小学校・琉大ハカセ塾）・東江 あやか（琉球大学）
- JP-02 沖縄島の貫入岩の年代測定と岩石鉱物学的特徴
中島 求（昭和薬科大学附属中学校・琉大ハカセ塾）・新城 竜一（琉球大学）
- JP-03 泡盛醸造に適した沖縄自然界からの黒麹菌の単離
前里 瑠那（沖縄県立小禄高校・琉大カガク院）・外山博英（琉球大学）
- JP-04 海藻カゴメノリ由来の海水着色現象に関する研究
吉野 隼人（沖縄カトリック中学校・琉大ハカセ塾）・東江あやか（琉球大学）
- JP-05 電磁石の強さの研究
安谷屋 慧（与那原中学校・琉大ハカセ塾）・東江あやか（琉球大学）
- JP-06 微生物燃料電池の可能性を探る~沖縄の未利用資源の活用に向けて~
大城 輝真（沖縄県立浦添高等学校・琉大カガク院）・中川 鉄水（琉球大学）
- JP-07 食用卵の孵化の挑戦と原種と採卵種の成長の違いについて
名嘉 俐尊（琉球科学教育研究会）・梅田 雄飛（琉球科学教育研究会）
- JP-08 電気分解で水素ロケットを飛ばす装置作り
雀部 颯（琉球科学教育研究会）・梅田 雄飛（琉球科学教育研究会）
- JP-09 再生可能な瞬間冷却ボトルの制作
新垣晴己（琉球科学教育研究会）・梅田雄飛（琉球科学教育研究会）
- JP-10 三匹のこぶたから考察するオオカミの肺活量について
島袋 希（琉球科学教育研究会）・梅田 雄飛（琉球科学教育研究会）

3. SPACC 一般会員および学生会員ご入会のお願

先端錯体工学研究会(SPACC)会員の皆様におかれましては、常日頃より本学会の活動にご支援・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。学生の皆様につきましてもご入会をお待ちしております。ご希望の場合、1研究室あたり年会費 1,000 円で、20 名様まで入会・登録していただけます。SPACC が主催する国際会議において、講演賞・ポスター賞の審査には、必ず学生会員登録が必要です。

[年会費]

・個人正会員

賛助会員 (1 口) 10,000 円

正会員 : 3,000 円

・学生会員 (1 口) 1,000 円

(1 研究室で 1 口につき 20 名まで)

・法人会員 (1 口)

維持会員: 10 万円

一般会員: 2 万円

[入会手続]

・電子メールによる手続

以下の URL に記載されているフォームをダウンロードするかコピーして必要事項をご記入の上、

jimukyoku@spacc.gr.jp 宛に送信してください。

個人正会員用: <http://spacc.gr.jp/page2e.html>

学生用会員: <http://spacc.gr.jp/page2f.html>

法人用: <http://spacc.gr.jp/page2g.html>

振込先: 先端錯体工学研究会

・振込用紙を用いた郵便振込

00130-7-773549

・銀行からのお振込

ゆうちょ銀行

(金融機関コード: 9900)

〇一九店 (店番: 019)

当座 0773549

・郵送による手続

以下の URL に記載されているフォームをダウンロードして、必要事項をご記入の上、事務局宛に郵送して下さい。

個人正会員用: <http://spacc.gr.jp/page2e.html>

学生用会員: <http://spacc.gr.jp/page2f.html>

法人用: <http://spacc.gr.jp/page2g.html>

*学生会員の場合:

会費の振り込みの際は、担当教員名か研究室名を、通信欄あるいは振込者名に書き加えて下さい。また、登録学生およびメールアドレスは、忘れずに事務局宛にお知らせください

郵送先

〒141-8648 品川区東五反田 4-1-17

東京医療保健大学大学院

医療保健学研究科

松村 有里子

4. 今後の行事予定及び事務局からのお知らせ

主催

2025 SPACC 年会

場所: 琉球大学

会期: 2025 年 11 月 2 日 (日)

担当: 福本 晃造 (大阪教育大学)、中川 鉄水 (琉球大学)、高良 聡 (琉球大学)

詳細は、HP と本号をご参照ください。

共催

Pacifichem 2025 シンポジウム

" New Approaches to Large Molecular Architectures "

会期: 2025 年 12 月 17 日 (水)

会場: ハワイ, Hilton Hawaiian Village

シンポジウム世話人: Hiroyuki Nakamura; Vladimir Gevorgyan; Andrei Yudin

主催

The 31st International SPACC Symposium (SPACC31)

場所: 大阪公立大学 杉本キャンパス

会期: 2026 年 7 月 10-11 日 (金・土)

担当: 西岡 孝訓 (大阪公立大学)

詳細は、追ってご連絡致します

編集後記

8月に材料部会のフォーラムが星和電機株式会社にて開催されました。多方面の方々
がご参集され、先端工学を志す本会らしく企業と大学の貴重な意見を交換できる機会と
なる大変実りのある産学交流になったと聞いております。ご協力いただきました諸関係者
の皆様ありがとうございました。いよいよ来月には、沖縄での SPACC 年会が開催されま
す。うちの4年生も学会デビューということで、今必死に実験・練習をしています。(桑村)

ニュースレター担当への問い合わせ方法

ご研究紹介等、SPACC ニュースレターへ
のご寄稿をしていただける場合や、本会が
主催または協賛するシンポジウムの情報
は、事務局までお気軽にお知らせください。

先端錯体工学研究会事務局

E-mail: jimukyoku@spacc.gr.jp

東京医療保健大学大学院 松村有里子

高速液体クロマトグラフ質量分析計

Liquid Chromatograph Mass Spectrometer

LCMS-8060NX



ANALYTICAL
INTELLIGENCE

Enhanced performance

Sensitivity and Robustness

- 世界最高クラスの感度と測定速度
- ダウンタイムを最小化する高い頑健性
- ワークフロー全体を効率化する操作性



高速液体クロマトグラフ質量分析計

Liquid Chromatograph Mass Spectrometer

LCMS-2050



ANALYTICAL
INTELLIGENCE

SIMPLY EFFORTLESS

LCMS-2050は、装置サイズの大幅な小型化と、分析の高速化・高感度化の両立を実現したシングル四重極質量分析計です。極限まで小さくなったボディの中には、島津の技術が凝縮されています。LC検出器としての使いやすさとMSの優れた能力を掛けあわせて、完璧なユーザビリティを追求した質量分析計、それがLCMS-2050です。



LCMS-2050の特長や動画をWebでご紹介



ANALYTICAL
INTELLIGENCE

Analytical Intelligenceは、島津製作所が提案する分析装置の新しい概念です。

システムやソフトウェアが、熟練技術者と同じように操作を行い、状態・結果の良し悪しを自動で判断し、ユーザーへのフィードバックやトラブルの解決を行います。また、分析機器に対する知識や経験の差を補完し、データの信頼性を確保します。

Analytical Intelligence logoは、株式会社島津製作所の商標です。

島津製作所代理店



竹田理化工業株式会社

本社 〒150-0021 東京都渋谷区恵比寿西2-7-5

TEL (03) 5489-8511 FAX (03) 5489-8501

<http://www.takeda-rika.co.jp> E-mail: info@takeda-rika.co.jp